

WTO 林産物貿易政策の空間均衡分析

持田 亮（九州大学博士後期課程）
狩野秀之（九州大学）・前田幸嗣（九州大学）

背景と目的

現在，世界貿易機関（World Trade Organization, WTO）の非農産品市場アクセス（Non-Agricultural Market Access, NAMA）グループにおいて，林産物貿易交渉が繰り広げられている．NAMA グループにおける主要な論点は，上限関税を実質的に規定するスイス・フォーミュラ係数をめぐるものであるが，先進国（日本，米国，EU等），NAMA11（ブラジル，インド，南アフリカ等）および中間派（チリ，中国，メキシコ等）といったグループ間で，意見は激しく対立している．本報告の目的は，スイス・フォーミュラ係数をめぐる以上の各グループの提案が国際林産物貿易にいかなる影響を及ぼすか，政策シミュレーションを行うことである．

既往研究

林産物貿易の政策シミュレーションを行うにあたっては，従来，Global Forest Products Model（GFPM）⁽¹⁾がよく利用されてきた．しかし，GFPMは，市場構造が完全競争的であると仮定しており，林産物の加工品市場について進展している国際的な不完全競争を考慮することができない．また，従価税を扱うことができないという問題に加え，貿易慣性という経済理論上の根拠に乏しい制約を課しているという問題を抱えている．

分析モデルと政策シミュレーション

そこで，本報告においては，庄野・川口⁽²⁾，前田⁽³⁾および前田・狩野⁽⁴⁾が展開した空間均衡モデルをもとに，以上のGFPMの問題を克服しうる，林産物貿易の政策シミュレーションモデルを構築する．具体的には，クールノー・プレーヤー，従価税および非関税障壁を含む政策シミュレーションモデルを線形相補性問題（Linear Complementarity Problem, LCP）として定式化する．そして，カリブレーションを通じて非関税障壁を従量税として換算・推計した上で，スイス・フォーミュラ係数の値を様々に変化させ，所期の目的を達成する．

引用文献

- (1) Buongiorno, J., S. Zhu, D. Zhang, J. Turner and D. Tomberlin (2003) The Global Forest Products Model. Academic Press.
- (2) 庄野千鶴・川口雅正「関税を導入した国際貿易空間均衡モデルの展開 寡占市場の場合」『九州大学農学部学芸雑誌』第54巻，第1～2号，1999年，85～96頁
- (3) 前田幸嗣「不完全競争下における国際貿易の政策シミュレーションモデル 混合相補性問題による国際小麦貿易の空間均衡分析」『農業経済研究』第73巻，第3号，2001年，119～132頁
- (4) 前田幸嗣・狩野秀之「国際コメ備蓄による食料安全保障と市場安定化 空間均衡モデルによる計量分析」2007年，*mimeo*．

連絡先：持田 亮 be305034@s.kyushu-u.ac.jp